

SAGAパラスポ2025(バレーボール知的障がいの部)

実施要領

1 競技規則

令和7年度に適用の全国障害者スポーツ大会競技規則(公財:日本パラスポーツ協会制定)及び(公財)日本バレーボール協会競技規則(6人制)によるもののほか、この要領の定めるところによる。

2 チーム

チームにおいて、監督及びコーチが選手を兼ねる場合は、選手名簿に登録されていない場合は選手として出場できない。この場合の選手人数は、選手を兼ねる監督及びコーチを含めて12名以内とする。

(1)チームの編成は、監督1名、コーチ1名、マネージャー1名及び選手12名以内とする。

(2)男女別にチームを編成する。

3 競技方法

(1)試合は、申込みチームの数により、トーナメント方式またはリーグ戦方式とする。また、トーナメント戦及びリーグ戦以外に交流戦を実施する。

(2)全試合3セットマッチとし、2セットを先取したチームを勝ちとする。

(3)1セット25点のラリーポイント制とする(ただし、交流戦の3セット目は15点のラリーポイント制とする)。なお、得点が「24対24」(交流戦3セット目は「14対14」)の同点となった場合、それ以降は、2点リードしたチームをそのセットの勝者とする。

(4)第3セットはいずれかのチームが13点(交流戦は8点)先取したときにコートの変更を行う。

(5)試合は、ワンボールシステムで行う。

(6)追込方式を採用し、直前の試合終了の10分後にプロトコールを開始する。ただし、連続試合となる場合は、試合終了後の20分以上空けてプロトコールを開始する。

(7)大会2日目の交流戦は、原則相互審判制で実施する。

4 服装等

(1)背番号は、1番から12番までとする。やむを得ない場合は、1番から99番までとする。なお、チーム名、キャプテンマークおよび背番号等のサイズは、規定のものとする。また、ユニフォームに県・指定都市名を表示すること。

(2)リベロプレーヤーを採用する場合は、他の競技者と明確に区別できるユニフォームを着用すること。

5 ネットの高さと試合球

(1)ネットの高さは、男子2.3m、女子2.15mとする。

(2)試合球は、公益財団法人日本バレーボール協会検定球5号級(人工皮革・カラーボール)とし、主催者で用意する。

男子 モルテン製カラーボール

女子 ミカサ製カラーボール

6 組み合わせ

組合せは、主催者が各ブロック予選会の順位等を踏まえ決定する。

7 開会式・表彰式

- (1)開会式は、競技開始前に競技会場で行う。
- (2)表彰式は、競技終了後に競技会場で行い、1位から3位までのチームに賞状及びメダルを授与する。

8 その他

- (1)代表者会議は、競技開始前に行い、その場において申し合わせ事項を設けることができる。なお、代表者会議の時間および場所については別途通知する。
- (2)ベンチには、選手、監督、コーチ、マネージャー以外は入ることができない。
- (3)監督、コーチ、マネージャーは統一された服装を着用すること。
- (4)監督、コーチ、マネージャーは規定の各章を左胸部につけることとし、未着用の場合はベンチに入ることができない。
- (5)チームスタッフ3名とは別にトレーナーを帯同しているチームは、チームベンチエリア後方の決められた位置にトレーナー1名を待機させることができる。なお、トレーナーは参加申込時に登録した者に限る。このトレーナーは、実際に施術ができる者とし、公認パラスポーツトレーナーの有資格者であることが望ましい。
- (6)競技場内には、主催者の許可を受けた者以外は立ち入ることができない。
- (7)練習球は、各チームで用意する。
- (8)練習は定められた場所で安全に留意し、主催者の指示に従って行うものとする。
- (9)荒天時ほか不測の事態が生じた場合の取扱い、主催者において別途決定する。